

出雲大社

ご縁を結ぶ

門前まさあるき



まち歩き時間の目安

出雲大社駐車場	5分
鏡島	5分
鏡島	5分
手鏡美術館	11分

至出雲文化伝承館

JR出雲大社駅	徒歩10分
出雲大社前駅	徒歩3分
宇迦の大鳥居	徒歩4分
吉光館	徒歩8分
旧大社駅	徒歩5分

重要文化財 日御神社
重要文化財 出雲日御燈台
国指定天然記念物 ヲミノコ繁殖地 経島
鶏峠・鷲浦

出雲大社
出雲大社境内の案内は裏面をご覧ください。

神道の道
交流会場
交流会場
交流会場

大会会場
大会会場
大会会場

出雲大社
出雲大社境内の案内は裏面をご覧ください。

- その他のWi-Fi SPOT
- Do Spot
 - Free Spot
- 手鏡美術館
観光案内所
AED
レンタサイクル
授乳室
足湯
トイレ
多目的トイレ
レンタサイクル
授乳室
足湯
トイレ
多目的トイレ

- 観光に関する問合せ
出雲観光協会
☎0853-31-9466
- 発行
出雲市観光課
☎0853-21-6588
- 【観光に関する問合せ】
出雲観光協会
☎0853-31-9466
- 発行
出雲市観光課
☎0853-21-6588

出雲大社 ご案内図

①千家尊福公の銅像

尊福公は明治5年(1872)、28才で第80代出雲国造を襲職し、出雲大社の大宮司に就任しました。明治天皇からの御信任が厚く、元老院議員、貴族院議員を経て、埼玉、静岡、東京の各知事、司法大臣までも務められました。「年の初めの…」で始まる「一月一日」の歌の作詞は、尊福公によるものです。

②下り参道

神社仏閣の参道で、下り参道はめったにありません。下りながら、一気に豊かな「神威の世界」に入っていきます。

③祓社

ここに祀られる四柱の祓戸神に、私たちが知らぬ間に犯した心身の汚れをはいら清めていただきます。これから参拝する大国主大神の御意に頂けるよう、ぜひ参拝しましょう。

④浄の池

水面が見る人の心を浄めてくれます。出雲大社は知人々を知るパードウォッチングスポットです。

⑤野見宿禰神社

平成25年10月に相撲の祖と称えられる野見宿禰(のみすくね)をお祀りする野見宿禰神社が創建されました。

⑥祓橋

橋の下を流れる川は、出雲大社の後背の八雲山から流れる清流「素鷲川」です。八雲山は古来から禁足地とされる神聖な山です。

⑦松の参道

以前は殿様や貴族の方だけが真ん中を通ることが許されていました。この松は、寛永年間(1630年頃)に松江藩主の堀尾忠氏(たうじ)の夫人が祈願成就の御礼に奉納されたものです。

⑧ムスビの御神像

大国主大神が、日本海の荒波の向こうから現れた「幸魂奇魂(ききみたま)を授けられ結びの神とされたという神話の一場面を再現しています。御神像は鋳物でできていて、昭和61年(1986)に京都の崇敬者の方が寄進したものです。

⑨御慈愛の御神像

神話「イナバの白うさぎ」で知られるだいきく様は、大国主大神をさしています。白うさぎを助けたように御慈愛に満ちた神様として有名ですが、背負われた「袋」の中に何が入っているかご存知ですか?そこには私たちの苦難・悩みが入っていて、私達の身代わりに背負ってられます。その後、大神さまは幾度も試練・難事によって死の淵に沈みましたが、その度に見事に復活、蘇りをされました。よって「復活の神」、「よみがえりの神」、「いのちを結ぶ神」と言われています。

⑩上皇后陛下の御歌の歌碑

「国譲り 祀られましし 大神の 奇しき御業を 偲びて止まず」この歌は、平成15年(2003)10月3日に皇后陛下がご参拝された折、「出雲大社に詣でて」と題され、大国主大神が皇室のご先祖に国土を奉還された「国譲り神話」を讃えて詠まれたものです。

⑪手水舎

神前に進む前に両手、口を清めましょう。

⑫銅鳥居

天正8年(1580)に毛利輝元によって寄進されたもの。寛文6年(1666)に損傷部分が多かったため、輝元の孫、毛利綱広(長州藩主)が現在の鳥居に造り直しました。銅製の鳥居としては、わが国で最も古い鳥居です。

⑬拝殿

現在の拝殿は、昭和34年(1959)に総ヒノキ造りで再建されたものです。銅鳥居の下の中中央に立つと、拝殿が左にずれていることがわかります。これは御本殿の御屋根を拝することができるようにと配慮されているからです。

⑭御本殿

大社造りとよばれる日本最古の神社建築様式です。現在の御本殿は高さ24mで延享元年(1744)に3年半の歳月をかけて完成しました。古くは倍の48mの御本殿が建てていました。出雲大社では、60年に一度、厚さ1mのひわだ(ヒノキの皮)葺きの屋根を葺き替えてご遷宮を行います。現在の御本殿では4回目で、昭和28年(1953)以来のご遷宮になります。

⑮楼門

楼門とは、2階建てで下の部分に屋根のない門です。寛文7年(1667)建立。正月の間だけ一般に公開されています。

⑯八足門

門の鴨居部分に龍鳳獣と流水紋の美しい彫刻がほどこされています。とても見事で見事です。寛文7年(1667)建立。

⑰十九社

旧暦10月の神在月(全国的には神無月)に全国から八百万(やおよろず)の神々が集まり、7日間の神議り(かむはかり)の間、ここに宿泊されます。東西とも十九の扉があり、ご滞在中の期間は全ての扉が開かれます。

⑱素鷲社

大国主大神の父神、素鷲鳴尊が祀られています。「八岐大蛇(やまたのおろち)退治」が有名で、神楽の演目の一つとしても人々に親しまれています。

⑲神楽殿

建物は昭和56年(1981)に造営されました。祭典、祈願、結婚式などが行われます。大広間は270畳敷きの広さをほこり、神社建築にはめずらしく正面破風の装飾にステンドグラスが使われています。正面には日本最大級の大注連縄(おしめなわ)があります。

⑳北島国造家四脚門

寛文4年(1664)の屋敷替の際、本殿の後方にあった北島国造家屋敷、四脚門を境内拡張のため、現在の地に移築されたものです。

㉑千家國造館

天總日命依頼代々出雲大社に奉仕される出雲國造のお住まいであると同時に、厳重な潔斎場という性格をわせ持った建物です。



参拝の心得

四つの鳥居をくぐる

石、銅、鉄、銅とそれぞれに違う素材を使った四つの鳥居を丁寧にくぐり、御本殿までの間にしっかりと心を整えましょう。

二礼四拍手一礼

一般の神社では、手を二回打つ「二拍手」ですが、出雲大社は「四拍手」が正しい作法です。二度拝礼して四回手を打ち、最後にまた一回拝礼をします。

*ご参拝定時ガイド

受付 神門通り観光案内所

お問合せ 0853-53-2298

詳細は出雲観光協会ホームページをご確認ください。

